

## 平成30年度 行政評価事業別シート

<b>実計対象</b>	<input type="checkbox"/>	<b>評価対象</b>	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>新規</b>	<input type="checkbox"/>	<b>完了事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>ゼロ予算事業</b>	<input type="checkbox"/>	<b>担当者</b>	永井隆広
<b>全体計画</b>						<b>経費区分</b>		-		<b>内線</b>	3335
<b>事務事業名</b>	5858 特定健康診査事業										
<b>所 属</b>	100600 健康福祉部・健康づくり課										
<b>施 策</b>	01010200 地域医療を支える体制づくり										
<b>会計</b>	11 国民健康保険特別会計										
<b>科目</b>	040201 保健事業費・特定健康診査等事業費・特定健康診査等事業費										
<b>事業</b>	010100 特定健康診査等事業・特定健康診査事業										
<b>事業目的</b>						<b>事業概要・効果</b>					
将来的な医療費の削減を目指す。						平成20年度から40歳以上の被保険者を対象に、内臓脂肪型肥満に着目した特定健康診査・特定保健指導が保険者に事務付けとなり、メタボリックシンドローム該当者及び予備軍を減少させるための特定保健指導が必要となる人を抽出するために健診を実施する。					

**PLAN-DO**

**年度実績及び予定**

<b>平成27年度 実績</b>	<b>平成28年度 実績</b>
受診率46.7%	受診率46%
<b>平成29年度 実績</b>	<b>平成30年度 予定</b>
受診率49.6%	受診率60%
<b>平成31年度 予定</b>	<b>平成32年度 予定</b>
受診率60%	受診率60%

指標名	特定健診の年間受診率					
算式	健診受信者／40歳以上の被保険者				単位	%
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標	60	60			
	実績	46	49.6			
指標選定の理由	第三期特健等計画が30年度末で60%を目指しているため					
最終年度目標の根拠	国掲示値が30年度末で60%であるため					
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式					単位	
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成29年度 決 算	平成30年度 予 算
事業費		35,507	39,409
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	14,287
	地方債	0	0
	その他	0	2,728
一般財源		35,507	22,394
人員数 (人)	正規職員	0.6	0.4
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.1
人員 コスト	正規職員	4,289.4	2,859.6
	嘱託職員	276.6	276.6
	臨時職員	0.0	117.9
	計	4,566.0	3,254.1
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		40,073.0	42,663.1

(単位：千円)

平成29年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	64	消耗品費 12 印刷製本費 52
13節 委託費	35,170	その他委託料 35,170
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	104	負担金 104 (特定健診推進負担金 104)
その他	169	賃金51 旅費 2 役務費 113 使用料及び賃借料 3

(単位：千円)

平成30年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	122	消耗品費 70 印刷製本費 52
13節 委託費	38,900	健診等委託料 38,000 データ管理委託 900
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	104	特定健診推進負担金 104
その他	283	賃金 77 旅費 3 役務費 200 使用料及び賃借料 3

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか</li> <li>行政内部の管理運営上必要な事業であるか</li> <li>市が主体となり実施すべき事業か</li> <li>法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか</li> <li>目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか</li> </ul>	高い
評価コメント	高齢者医療確保法に基づき保険者に義務付けられた健診である。毎年特定健診を受けて、自分の健康状態を知り、生活習慣病の予防に対する取り組みをするため必要	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業の成果は上がっているか</li> <li>目標に対する達成度は十分か</li> <li>市民生活上の課題解決に貢献しているか</li> <li>行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか</li> <li>事業の目的が達成できるような事業内容になっているか</li> </ul>	有効
評価コメント	長野県内19市内では第4位の受診率である。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか</li> <li>効率性向上に努めているか</li> <li>使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか</li> </ul>	変わらない
評価コメント	国1/4、県1/4の補助対象事業	

振り返り（決算年度の取組み課題）

若年者の受診率向上と医療受診しているが健診未受診者への働きかけが課題

## ACTION

## 1次評価

## 2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
健診により健康を維持することで住民の健康で充実した生活を維持する。また、早期治療につなげ、医療費適正化を図る。		若年者の受診率向上を図る。	

## 外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	